

令和4年6月定例会の議案について

1. G I G A端末持ち帰り環境整備事業

<目的>

新型コロナウイルス感染症の影響による児童生徒の自宅待機や学級閉鎖等の緊急時に、学習用タブレットを安全に家庭に持ち帰り、学びを保障できる環境を整えるため、破損防止用の保護ケースを購入する。

<事業費の内訳>

- ・消耗品費 11,149千円（単価3,000円程度の保護ケース）

＊総数 3,556台分【内訳】小学校 2,278台、中学校 1,278台

<補正予算額> 11,149千円（財源： 交付金 7,800千円）

2. 学童クラブ新型コロナウイルス感染症対策支援事業

<目的>

コロナ禍において、学童クラブを安全に運営するため、感染防止対策に必要な消毒液等の衛生用品及び管理用備品を購入する。

<事業費の内訳>

- ・感染症対策用消耗品 消毒液等 9品目 855千円
- ・感染症対策用備品購入費 空気清浄機等 2品目 645千円

<補正予算額> 1,500千円（財源： 国・県補助金 1,000千円、交付金 500千円）

3. ough講座・Web会議等環境整備事業・生涯学習施設感染症対策強化事業

<目的>

ウィズコロナを見据えた生涯学習の提供を図るため、カルチャーセンター及び3公民館に整備したWi-Fiを活用したオンライン講座やWeb会議等に対応するためのパソコン等を整備する。

併せて、感染防止対策の強化を図るため、検温と消毒を同時に行う非接触式検温消毒器、カルチャーセンター研修室で適切に換気を行うためのCO2センサー等の感染症対策備品を購入する。

<事業費の内訳>

- ・オンライン講座・Web会議等環境整備用備品購入費 パソコン等 6品目 1,592千円
- ・感染症対策用備品購入費 非接触式検温消毒器等 5品目 940千円

<補正予算額> 2,532千円（財源： 交付金 1,700千円）

【内訳】カルチャーセンター 1,027千円、
湊、川岸、長地公民館 1,505千円

※各事業の財源に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用